令和6年度 第4回 運営推進会議議事録

- 日時：令和7年3月25日(火) 17:30 ～ 17:55
- 場所：篠原事業所2階 会議室
- 出席者：甲斐市職員、新居区民生児童委員、あすか在宅クリニック、山梨県立大学、利用者様家族、当法人職員、しらゆり看護小規模多機能型居宅介護事業所職員（計10名）

議事事項	<p>1) 現状報告（別紙1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①利用者の状況について ②サービスの内訳について ③令和7年度の事業計画について ④事故報告について <p>2.) その他</p>																										
議事内容	<p>議事1.)現状報告</p> <p>1. 利用者の状況について</p> <p>① 利用者数</p> <p>・利用者数は下記の通りとなっている。入院された方の再利用、新規利用があり、17人の利用となっている。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">月</td> <td style="padding: 5px;">1月</td> <td style="padding: 5px;">2月</td> <td style="padding: 5px;">3月(3/18時点)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">利用者数</td> <td style="padding: 5px;">14人</td> <td style="padding: 5px;">17人</td> <td style="padding: 5px;">17人</td> </tr> </table> <p>② 介護度（R7年2月分）</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">介護度</td> <td style="padding: 5px;">要介護1</td> <td style="padding: 5px;">要介護2</td> <td style="padding: 5px;">要介護3</td> <td style="padding: 5px;">要介護4</td> <td style="padding: 5px;">要介護5</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">人数</td> <td style="padding: 5px;">1人</td> <td style="padding: 5px;">4人</td> <td style="padding: 5px;">2人</td> <td style="padding: 5px;">8人</td> <td style="padding: 5px;">1人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding: 5px;">6%</td> <td style="padding: 5px;">25%</td> <td style="padding: 5px;">13%</td> <td style="padding: 5px;">5%</td> <td style="padding: 5px;">6%</td> </tr> </table> <p>平均介護度はR6年12月: 3.8、R7年2月: 3.3と下降 要介護3以上の方が68.7%と前回より低下している。要介護3の方が12月は7人いたが2月は2人となっていることが要因である。</p> <p>（質問）要介護4の方について、全体に対しての割合が違うのでは？ （応答）介護度について 要介護4の利用者は8人で、全体の割合は5%ではなく50%で修正して頂く</p> <p>③ 医療依存度について</p> <p>痰の吸引：2名、胃瘻：2名、膀胱留置カテーテル：4名、排便管理：4名。</p> <p>・常時、医療依存度の高い方が利用されている。きめ細やかなサービス提供を看護師が中心となって行い、また、介助方法についてセラピストより助言してもらい注意点などを介護職と情報共有しながら行っている。</p>	月	1月	2月	3月(3/18時点)	利用者数	14人	17人	17人	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	人数	1人	4人	2人	8人	1人		6%	25%	13%	5%	6%
月	1月	2月	3月(3/18時点)																								
利用者数	14人	17人	17人																								
介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5																						
人数	1人	4人	2人	8人	1人																						
	6%	25%	13%	5%	6%																						

2. サービスの内訳について

	12月	2月
通い	392回/月	304回/月
泊まり	164回/月	136回/月
訪問	介護	244回/月
	看護	205回/月
	26回/月	32回/月

・利用者数の減少に伴い通い・泊まり・訪問介護の回数が減少した。利用する場合、複数のサービスを組み合わせて、在宅での生活を維持したい利用者様とご家族が多い。

(質問) 泊まりの方の回数について、1日の上限はどんな感じでしょうか？

(応答) 1日9人が上限。1人の方が続けて泊まっている場合と、曜日で定期的に泊まっている方など様々であり、回数だけでは1日の満床状態はわからない。3月は2日間満床の日があった。

3. R7年度の事業計画について

R7年度の法人目標 当事業所の登録者数を平均21名以上としていく

1. 業務の整備として登録者数の増加を見据えて、利用者を介護職員の担当制とし、援助の方法や介護計画など行う。
2. 感染対策の徹底として、しらゆり訪問看護ステーションの感染管理認定看護師の指導の下に、施設内の感染対策について整備し、実際の対応方法も学ぶ。
3. 接遇については、接遇委員会のマニュアルを元に職員個々が取り組めるようにする。
4. 在宅部の他部門との連携は、介護職員間の兼務での協力体制をとること、訪問看護との関わりなどから、在宅部での連携方法を知ることによって利用者の支援に役立てる。
5. 職員のスキルアップ（事業所の取り組み・研修会の参加など）
6. 地域密着型の事業所として、あさがお定期巡回と連携し地域の方との交流を図る。
(地域交流委員会を設置し、検討し実施していく)

(質問) 地域交流委員会を設置するということが、とても良い計画だと思う。

今現在、イベントとか勉強会とか企画しているものがあれば教えて頂きたい。

(応答) 竜王リハビリテーション病院では、榎東区の防災訓練に参加している。新居区でもまずは防災訓練に参加させて頂くことから始めたいと考えている。

(質問) 地域側としての目線ではどうか、何か要望等あるか(地域側に対して)

(応答) 以前、地区の集まりに参加させて頂き、定期巡回サービスについての説明をさせて頂いたことがある。また、1年前から認知症カフェを開始しており、地域の方との交流を図っている。3/9のカフェでは30名の参加者とボランティアの方の参加などあった。今後も、地区で取り組んでいることについて何か関わることなどないか考えていきたい。

	<p>4. 事故報告</p> <p>R7年3月6日の朝に発生。介護職にて全介助の寝たきりの方をベッドから車椅子に移乗介助中に、車椅子から転落しベッドの柵に頭部を打撲し裂傷となる。ご家族に連絡し受診、職員も同行した。検査にて頭部に異常はなく経過観察となる。裂傷部は縫合処置にて抜糸での再受診となる。当日、事故報告書を作成し甲斐市に届け出を行った。</p> <p>原因として、介助の職員が車椅子を置く位置が離れていたこと、利用者が前傾姿勢になりやすいことを踏まえずリクライニングの調整をしなかったことが考えられた。</p> <p>今回の事故を振り返り、安全な車椅子移乗の方法の見直しを行った。利用者の状況に応じ2人介助を行うこと、介助での車椅子の基本の配置の確認することを職員間で情報の共有を行った。また、経験年数が長くなるにつれて、職員が自己流の方法となっていないか確認していくことも必要だと考える。</p> <p>(意見) 事故は起きてはならないもので回避すべきことである。今回、事故が起こった後になぜ起こったのか課題の分析をし、次に起こらないために職員への伝達を行っていることが評価できる。どうしたら防げるか、個人の叱責ではなく再発防止に取り組んでほしい。</p>
<p>決議事項</p>	
<p>課題事項</p>	
<p>備考</p>	<p>次回会議：R7年5月27日(火)17:30～ 場所：しらゆり看護小規模多機能型居宅介護事業所</p>